

平成27年7月31日

研修報告書

松戸市議会議員
大塚 健児

研修：人事制度の問題点

主催：(株)グローバルダイナミクス代表取締役社長 山中俊之

日時：平成27年7月31日（火） 14時～16時半

場所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

次第：1. 給料はどうして決まるのか

2. 給料表の何が問題か

3. 人事院勧告と官民格差

4. 公務員の給料は本当に高いのか

【研修報告】



1. 給料はどうして決まるのか

具体的に月額給与、ボーナス、管理職手当、通勤手当、その他各種手当の具体的な事例をもとに説明があった。また、大阪市の給料表を見ながら、毎年の昇給している仕組みを説明する。

2. 給料表の何が問題か

大阪市の給料表から読み解く。等級が異なっても給与の重なりがあることが問題。また、毎年のように昇給することも公務員独特であった。民間は決してそうではないという説明を受ける。

3. 人事院勧告と官民格差

具体的にどのように人事院勧告が行われているのか。その具体的な内容について説明がある。元市の職員であったが、実際にこうして人事院勧告があるということを初めて知った。官民との格差があることは明らかで、早急にこの問題について解決をしなければならない。

4. 公務員の給料は本当に高いのか

2013年平均年収ランキング（参考：東洋経済ビジネスオンライン）によると、松戸市は全国で

697万円で27位である。1000を超える自治体の中でも上位ランクイン。

この情報だけ見ても、市民が知ったらどうだろうか？

やはり給与は高いとしか言えない。今後もやみくもに公務員給与削減とは言わないまでも、人事院勧告に従いながらも、民間水準を遵守していきたいと思う。

【まとめ】

最後に給料表の細かい仕組みを知って本当に勉強になりました。

今後も公務員給与の適正について、具体的なデータを基に、市民が納得できる形に推移していきたいと思う。



以上